

低炭素建築物新築等計画認定制度 一次エネルギー消費量計算結果(住宅)

1. 住宅/住戸(タイプ)の設計一次エネルギー消費量等

(1) 住宅/住戸(タイプ)の名称	〇〇〇〇邸			
(2) 床面積	主たる居室	その他の居室	非居室	計
	29.81㎡	44.72㎡	28.14㎡	102.67㎡
(3) 省エネ地域区分/年間日射地域区分	5地域(IVa地域) /		*****	
(4) 住宅/住戸(タイプ)の一次エネルギー消費量(1戸当り)				
	基準一次エネルギー消費量		設計一次エネルギー消費量	
暖房設備一次エネルギー消費量	18915		15549	
冷房設備一次エネルギー消費量	1355		2008	
換気設備一次エネルギー消費量	3492		4455	
照明設備一次エネルギー消費量	8968		5621 MJ/(戸・年)	
給湯設備一次エネルギー消費量	23423		16765	
その他の一次エネルギー消費量	20396		20396	
太陽光発電等による発電量 (参考値) 総発電量	評価	ここが低炭素の基準値	ここがこの住宅の 実際の消費量	
合計	①	76549	②	64793 MJ/(戸・年)
(6) 判定				結果
基準一次エネルギー消費量	③	76.6 GJ/(戸・年)	①÷1000かつ小数点第2位を切り上げ	③ ≥ ④
設計一次エネルギー消費量	④	64.8 GJ/(戸・年)	②÷1000かつ小数点第2位を切り上げ	達成

本計算結果は、当該住宅が建設される地域区分及び設計内容に、一定の生活スケジュールに基づく設備機器の運転条件等を想定し計算されたもので、実際の運用に伴うエネルギー消費量とは異なります。

2. 当該特定住宅(住宅タイプ)の仕様

(1) 暖冷房仕様

外皮/設備項目		外皮/設備の仕様
A. 外皮	単位温度差あたりの外皮熱損失量	140.3 W/K
	単位日射強度あたりの日射熱取得量	冷房期: 5.99 暖房期: 4.99
	通風の利用	主居室: 通風を利用しない その他の居室: 通風を利用しない
	蓄熱の利用	蓄熱を利用しない
B. 暖房設備	運転方式	「主たる居室」と「その他の居室」の両方あるいはそれぞれに暖房設備機器または放熱器を設置する
	設備仕様	【主たる居室】ルームエアコンディショナー エネルギー消費効率の区分: 区分(は) 【その他の居室】暖房設備機器または放熱器を設置しない
C. 冷房設備	運転方式	「主たる居室」と「その他の居室」の両方あるいはいずれかに冷房設備機器を設置する
	設備仕様	【主たる居室】ルームエアコンディショナー エネルギー消費効率の区分: 区分(は) 【その他の居室】冷房設備機器を設置しない

(2) 換気仕様

設備項目	設備仕様
D.換気	ダクト式第一種換気設備 採用する省エネルギー手法: 径の太いダクトを使用し、かつDCモーターを採用する 換気回数:0.5回/h 第一種換気設備の場合における有効換気量率: 0.92
E.熱交換	熱交換型換気を採用する

(3) 給湯仕様

設備項目	設備仕様	
F. 給湯設備	熱源機	電気ヒートポンプ給湯機(JIS効率:3.3) ふろ給湯機(追焚あり)
	配管	ヘッダー方式(ヘッダー分岐後のすべての配管径が13A以下)
	水栓	台所: 2バルブ水栓以外のその他の水栓(手元止水・水優先吐水) 浴室シャワー: 2バルブ水栓以外のその他の水栓(手元止水・小流量吐水機能) 洗面: 2バルブ水栓以外のその他の水栓(水優先吐水)
	浴槽	高断熱浴槽を採用しない
G. 太陽給湯		

(4) 照明仕様

設備項目	設備仕様	
H. 照明設備	主たる居室	白熱灯の使用:すべての機器において白熱灯を使用していない 多灯分散照明方式の採用:採用しない 調光が可能な制御:採用する
	その他の居室	白熱灯の使用:すべての機器において白熱灯を使用していない 調光が可能な制御:採用する
	非居室	白熱灯の使用:すべての機器において白熱灯を使用していない 人感センサー:採用しない

(5) 発電仕様

設備項目	設備仕様	
I. 太陽光 発電設備	パネル面数	
	その1	
	その2	
	その3	
	その4	
J.コージェネレーションシステム	*****	